

単元名 Unit 7 World Heritage Sites

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 世界遺産などについて、事実などを整理し、受け身（平叙文）などを用いて理解したり説明したりすることができる。
- (2) あるものを紹介するために、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- (3) 行きたい世界遺産を紹介するために、どのような場所であるかの情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりしようとする。

標準的な展開例

11250301_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 受け身の用法について学習する。</p> <p>★受け身の文を使って人や物を説明しよう。</p> <p>○Previewを通して、分かったことを伝え合う。</p> <p>○本文を読んで、概要を読み取る。</p> <p>○受け身の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ペアで物当てゲームをする。</p>	<p>・Previewを視聴し、分かったことをペアの生徒に伝えさせる。</p> <p>・本文の内容理解を通して、受け身の用法についてつかませる。</p> <p>・Practiceに取り組みせ、生徒の理解度を確認する。</p> <p>・教員が示した物について受け身の文を使ってペアに説明させる。</p> <p>【評】受け身についての練習問題を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>2 Scene2 受け身の疑問文とその答え方について学習する</p> <p>★受け身の疑問文を使って短い会話をしよう。</p> <p>○新出語句の確認・練習を行う。</p> <p>○本文を読んで、概要を読み取る。</p> <p>○受け身の疑問文とその応答の文の形・意味・用法を知る</p> <p>○受け身の疑問文を使ってペアで会話をする。</p>	<p>・電子黒板やタブレットを用いて、テンポよく行う。</p> <p>・本文の内容理解を通して、受け身の疑問文とその答え方についてつかませる。</p> <p>・Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>・Plus Oneを活用するなど、対話の場面を設定して活動を行う。</p> <p>【評】受け身の文を使っの対話活動を通して「知識・技能」を評価する。</p>
<p>3 Mini Activity ささまざまな活動を通して、受け身の文についての理解を深める。</p> <p>★受け身の文を使って品物当てゲームをしよう。</p> <p>○Listenに取り組む。</p> <p>○Speak & Writeの課題に取り組む。</p>	<p>・必要に応じてメモを取るよう指示する。</p> <p>・生徒の理解度に応じて、発話量を増やさせてもよい。</p> <p>・Tool Boxを活用させる。</p> <p>【評】Speak & Writeの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
<p>4 Read and Think1 byを用いる受け身の用法を学習する</p> <p>★ベネチアの問題についてさまざまな立場から考え、意見を伝え合おう。</p> <p>○新出語句の確認・練習を行う。</p> <p>○byを用いる受け身の文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ペアになり、教師が示した写真などについて、受け身の文を使って対話をする。</p> <p>○本文を読んで、分かったことを話し合う。</p> <p>○本文についての問いに答える。</p> <p>○ベネチアの問題についてさまざまな立場から考える。</p>	<p>・電子黒板やタブレットを用いて、テンポよく行う。</p> <p>・Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>・物当てクイズのように行ってもよい。</p> <p>【評】受け身の用法についての練習問題を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・分かったことをペアの生徒に伝えさせる。</p> <p>・Round1とRound2を通して、本文の内容を詳しく理解させる。</p> <p>・Round3に取り組ませる。</p> <p>・生徒がどの立場で意見を述べるのかを明確にさせる。</p> <p>【評】ベネチアの問題について意見を伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
<p>5 Read and Think2(1) 助動詞を含む受け身の用法を学習する。</p> <p>★日本の世界遺産についての文章を読み取ろう。</p> <p>○新出語句の確認・練習を行う。</p> <p>○助動詞を含む受け身の文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○練習問題に取り組む。</p>	<p>・電子黒板やタブレットを用いて、テンポよく行う。</p> <p>・通常の受け身の文との違いを考えさせ、be動詞の原形が使われることに気付かせる。</p> <p>・Practiceを通して、理解度を確認する。</p> <p>【評】助動詞を使った受け身の用法についての練習問題を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○本文を読んで、分かったことを話し合う。 ○本文についての問いに答える。 ○富士山について知っていることを書き出す。 <p>6 Read and Think2(2) 日本の世界遺産について調べてまとめ。</p> <p>★富士山について調べたことをプレゼンしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○富士山について、より詳しく調べる。 ○富士山についての紹介文を作る。 ○プレゼンに使う資料を準備する。 ○グループ内で富士山についてのプレゼンを発表する。 <p>○代表者によるプレゼンを行う。</p> <p>7 Unit Activity 世界遺産について調べて、分かったことと伝え合う。</p> <p>★自分が行きたい世界遺産を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界各地の世界遺産について知っていることを話し合う ○自分が行きたい世界遺産についての資料を集める。 <p>○集めた資料についてペアで伝え合う。</p> <p>○グループ内で自分が行きたい世界遺産を紹介する。</p> <p>8 単元のまとめ 単元テストに取り組む。</p> <p>★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことをペアの生徒に伝えさせる。 ・Round1とRound2を通して、本文の内容を詳しく理解させる。 ・タブレットなどは使用せず、生徒自身が知っていることを書き出させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使用させ、富士山について詳しく調べさせる。 ・タブレットで調べたことや生徒自身を知っていたことを整理させ、紹介文を書かせる。 ・タブレットを使用させ、富士山についての資料を集めさせたり作らせたりする。 ・グループはあらかじめ組んでおく。 ・他の模範となるような発表を抽出する。 <p>【評】富士山について調べたことを発表する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・プレゼンのどのような点が優れているかを学級に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中の世界遺産についていくつか画像や映像などとともに紹介するとよい。 ・STEP1に取り組ませる。 ・電子黒板に世界各地の世界遺産を例示しておくとい。 ・タブレットを使用させ、資料画像などを準備させる。 ・STEP2に取り組ませる。 ・教科書のモデルを参考に会話させる。 ・STEP3に取り組ませる。 ・資料を見せながら発表させる。 <p>【評】自分が行きたい世界遺産を発表する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、受け身の用法についての「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、受け身を使った文を活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。